

このコーナーでは、国土交通省の各機関等から個別に発信されている河川行政に関する情報（政策・制度・予算、発注見通し、個別河川の情報、災害状況等）を集約・選択・分類してお届けします。

（※ 平成 30 年 3 月まではどなたでもご覧いただけますが、4 月以降は会員専用サイトとします）

## 【政策・制度・予算などに関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.2	国土交通本省	<a href="#">平成 29 年度 水管理・国土保全局補正予算配分概要（平成 30 年 2 月）</a>	今年度補正予算の基本的な考え方と地域別の概要です。「防災・減災」が大きな柱です。
H30.2	国土交通本省	<a href="#">水管理・国土保全局 事業実施箇所（補正予算）</a>	河川関係事業における個別箇所の配分額です。
H30.2.22	北海道開発局	<a href="#">平成 30 年度 政府予算案に関する事業計画を掲載しました。</a>	
H30.2.22	沖縄総合事務局	<a href="#">平成 30 年度直轄事業の事業計画等（沖縄県関連分）について（政府予算案）</a>	
H30.1	国土交通本省	<a href="#">平成 30 年度 水管理・国土保全局関係予算概要（平成 30 年 1 月）</a>	“防災意識社会”と“水意識社会”への新たな展開が柱になっています。

## 【個別河川のプロジェクト・計画に関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.3.8	北陸地方整備局	<a href="#">大河津分水路改修事業起工式を挙行します ～抜本的改修の本格工事の着手に向け～</a>	治水関係者にとっては「世紀の大事業」と言っても過言ではないと思います。いよいよ本格的に始まります。
H30.3.7	北陸地方整備局	<a href="#">千曲川右岸築堤改修事業（須坂市福島・長野市若穂地区） 起工式を開催します</a>	長野県須坂市と長野市を守る堤防工事が本格化します。

## 【発注見通しなどに関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.2.20	中部地方整備局	<a href="#">補正予算対応の発注見通しを掲載！ H30.2 月期の公共工事「地区別発注見通し」公表～中部ブロック発注者協議会～</a>	地区別発注見通しの公表が大きなポイントです。

## 【その他建設産業に関わる情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.3.14	関東地方整備局	<a href="#">1 月、2 月南岸低気圧による大雪に対する国道 298 号の雪害対応功労者 30 社に感謝状を贈呈 ～「昼夜の雪害対策に尽力された 30 社へ感謝状を贈呈します」～</a>	建設産業は災害対応時の「地域の守り神」です。河川関係の表彰ではありませんが、当協会の会員企業のうち、 「 <b>関口工業株式会社</b> 」様 「 <b>東鉄工業株式会社</b> 」様 「 <b>株式会社ユーディーケー</b> 」様に感謝状が送られます。

H30.3.14	国土交通本省	<a href="#">簡易型河川監視カメラの開発に参画する企業等を公募します</a> <a href="#">～革新的河川技術プロジェクト（第三弾）の始動～（2018年3月14日）</a>	先進的な技術が水害被害を減少させます。特に観測体制が十分ではない中小河川の沿川住民にとっては期待が大きいと思います。
H30.3.9	中部地方整備局	<a href="#">建設コンサルタント業務等における「一括審査方式」の試行を開始～受発注者双方の負担軽減を図ります～</a>	受発注者双方の負担軽減を目指した取り組みです。
H30.3.8	中国地方整備局	<a href="#">甚大な災害が発生した際に応援して頂ける企業者を募集します。</a>	福山河川国道事務所の取り組みです。河川では芦田川と高屋川が対象になっています。
H30.2.26	中部地方整備局	<a href="#">3月1日より“建設技術フェア 2018 in 中部”の出展募集を開始します！～10月17日・18日「建設技術フェア 2018 In 中部」を吹上ホールで開催～</a>	企業のPRになるだけでなく、将来の担い手の確保という点からも重要な取り組みです。ぜひ積極的に応募されてはいかがでしょうか。
H30.2.26	関東地方整備局	<a href="#">災害時における応急復旧活動に協力いただける企業を公募します「応急資機材の水上輸送」や「水上からの応急復旧」が可能な企業も新たに公募します。</a>	荒川下流河川事務所の取り組みです。「水上」というのが独自のキーワードです。
H30.2.21	関東地方整備局	<a href="#">未来の担い手、魅力発見！～高校生を対象とした鬼怒川緊急対策プロジェクトの現場見学会を開催～</a>	発注者側でも建設産業の担い手確保に向けて努力を続けています。
H30.2.14	関東地方整備局	<a href="#">「ハツ場ダム工事事務所の災害時応急対策業務に関する協定」の締結を希望する建設会社を公募します。</a>	ハツ場ダム工事事務所の取り組みです。